

※ 今週のアウトルック(11/7~11/11)

先週、ドル円は狭いレンジ内の動き、ユーロドル、ポンドドルなどは木曜日まで下落しましたが、金曜日の米国雇用統計の発表を受けて買い戻されました。

米国雇用統計の非農業部門雇用者数は予想よりも改善されましたが、失業率が予想よりも上昇していたことが嫌気されたようです。

今週は、米ドルの独歩高が解消されていくのかどうか注目されますが、オーストラリアやカナダなど、利上げペースを緩める国も出てきており、米国の金利動向に関する発言には大きく左右されそうです。

先週のドル円は、149円台に乗せることができないまま、金曜の米国雇用統計の発表を受けて146円台まで下落しました。

149円付近が強いレジスタンスになっているようです。

今週は、このまま145円付近のサポートラインを割り込んで下落し行くのかどうかまずは注目されますが、このサポートラインは意外に厚く、割り込んでしまうにはもう少し時間がかかりそうな状況です。

ドル円の予想レンジは144円から150円です。

先週のユーロ円は、木曜日に144円台まで下落しましたが米国雇用統計の発表を受けて、146円台まで回復してそのまま週末を迎えました。

今週も、144円付近のサポートを割ることや、148.5円付近のレジスタンスを超えることは難しそうですが、ECB要人の発言には注意が必要のように思います。

ユーロ円の予想レンジは143円から149円です。

ポンド円は週明け早々から下落して、週後半には1度165円付近まで下落しました。新政権への期待感は早々に終わってしまったようです。しばらくはレンジ内での動きが続きそうです。

ポンド円の予想レンジは164円から172円です。

市場の関心はインフレ終息後に大きく傾きかけているようです。仕掛け的なドル売りが出てくる可能性もあるように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。